



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 テンアライド 株式会社

コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 飯田 永太

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 加藤 慶一郎

TEL 03-3661-0772

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,589	△3.9	86	291.6	92	282.6	21	—
24年3月期第2四半期	7,895	△8.8	22	—	24	—	△35	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 13百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △43百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.85	—
24年3月期第2四半期	△1.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	10,806	7,476	69.0	287.00
24年3月期	10,929	7,494	68.3	286.36

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,451百万円 24年3月期 7,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,730	0.0	232	56.9	264	72.1	102	△70.1	3.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	26,579,527 株	24年3月期	26,579,527 株
25年3月期2Q	617,208 株	24年3月期	497,653 株
25年3月期2Q	25,982,331 株	24年3月期2Q	26,082,037 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P3.「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした緩やかな景気の持ち直しが見られるものの、欧州各国のデフォルトリスク等に伴う円高や世界経済の停滞、また国内経済についてもデフレ基調が依然として継続していることから、先行きが極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの属する外食産業界におきましては、電気料金の値上げや消費税増税といった動きに機敏に反応した個人消費マインドが低調となりつつあり、加えて中食市場との競合が一層進んだことにより、極めて激しい競争が繰り広げられております。さらに、国家による食材の規制リスクや食材枯渇に伴う価格の高騰リスクといった状況も現出しており、経営を取り巻く環境はさらに厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、堅実な店舗展開と着実な収益構造の確立を図ってまいりました。

店舗展開といたしましては、まず新規出店として4月1日に「テング酒場」川口東口店と8月1日に「テング酒場」神田南口店をオープンさせました。また「旬鮮酒場天狗」から「テング酒場」への業態変更を5店舗実施いたしました。これにより当第2四半期連結会計期間末における当社グループの店舗数は、「旬鮮酒場天狗」36店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」含む）」49店舗、「テング酒場」37店舗の合計122店舗となっております（内フランチャイズ1店舗）。

以上のような店舗展開に加え、居酒屋業態店舗でのランチ営業やアイドルタイムでの営業といった営業時間の伸張を実施することにより機会収益を増大させ、店舗の収益構造の再構築に取り組むと共に、原価や各種経費についても引き続き見直しを行い、コストの削減・適正化に積極的に取り組んでおります。

もっとも、このような取り組みに際し、あくまで当社グループは愚直なまでにお客様への四つの誓い「良いものを安く、早く、清潔に、最高の雰囲気」を実現することを肝に銘じ、会社としての取り組みの方向性を見まがうことなく、当社グループ一丸となって邁進することを徹底しております。こうした観点から、従来から継続して取り組んでおります店舗営業に係る内部監査や衛生監査について、更に内容の充実に取り組み、理念の徹底を図っております。

以上のような取り組みの結果として、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、75億89百万円で前第2四半期連結累計期間比96.1%となっております。

他方、利益面につきましては、前期来の抜本的な効率化施策が功を奏し、営業利益は86百万円（前年同期は営業利益22百万円）、経常利益92百万円（前年同期は経常利益24百万円）、四半期純利益21百万円（前年同期は四半期純損失35百万円）となり、改善が進行しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1億22百万円減少し、108億6百万円となりました。この主な要因といたしましては、新規の設備投資に伴い有形固定資産が35百万円増加したものの、流動資産のうち、現金及び預金が32百万円、売掛金が24百万円、その他流動資産が65百万円減少し、加えて投資その他の資産のうち、その他に含まれる投資有価証券が12百万円、敷金及び保証金が38百万円減少していることによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億4百万円減少し、33億30百万円となりました。その主な要因といたしましては、新規の長期借入により長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が2億20百万

円、流動負債その他が94百万円増加いたしました。買掛金が49百万円、短期借入金が2億85百万円、社債が50百万円減少していることによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、74億76百万円となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が22百万円増加したものの、自己株式が30百万円、その他有価証券評価差額金が8百万円減少したことによるものであります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には25億55百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況については下記の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億86百万円となりました。これは主に減価償却費と税金等調整前当四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億20百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億98百万円となりました。これは主に長期借入れによる2億47百万円の収入に対し、短期借入金の増減、長期借入金の返済、社債の償還、リース債務の返済及び自己株式の取得による4億45百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年5月14日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

※業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績等は、今後の様々な要因の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,688,091	2,655,112
売掛金	125,935	100,989
商品及び製品	143,051	155,252
その他	423,761	358,048
貸倒引当金	△95	△128
流動資産合計	3,380,744	3,269,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,317,036	9,341,614
減価償却累計額	△7,316,298	△7,312,928
建物及び構築物(純額)	2,000,738	2,028,685
機械及び装置	1,485,583	1,504,520
減価償却累計額	△1,197,876	△1,211,851
機械及び装置(純額)	287,707	292,669
工具、器具及び備品	2,043,832	2,077,035
減価償却累計額	△1,730,452	△1,758,488
工具、器具及び備品(純額)	313,379	318,546
土地	245,103	245,103
建設仮勘定	2,100	—
有形固定資産合計	2,849,029	2,885,005
無形固定資産		
投資その他の資産	72,040	75,096
敷金及び保証金	4,478,092	4,440,047
その他	150,540	138,784
貸倒引当金	△1,400	△1,400
投資その他の資産合計	4,627,233	4,577,432
固定資産合計	7,548,303	7,537,533
資産合計	10,929,048	10,806,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,091	350,247
短期借入金	285,000	—
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,777	137,336
未払法人税等	82,769	59,173
その他	832,828	927,055
流動負債合計	1,762,467	1,573,813
固定負債		
社債	125,000	75,000
長期借入金	443,234	588,083
退職給付引当金	905,400	913,047
資産除去債務	22,352	22,401
その他	176,543	158,050
固定負債合計	1,672,530	1,756,582
負債合計	3,434,997	3,330,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,257,201	5,257,201
資本剰余金	1,320,293	1,320,293
利益剰余金	1,041,235	1,063,251
自己株式	△203,041	△234,008
株主資本合計	7,415,689	7,406,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,189	△20,675
土地再評価差額金	65,208	65,208
その他の包括利益累計額合計	53,019	44,532
新株予約権	25,341	25,141
純資産合計	7,494,050	7,476,412
負債純資産合計	10,929,048	10,806,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,895,371	7,589,564
売上原価	2,139,655	2,046,076
売上総利益	5,755,715	5,543,487
販売費及び一般管理費		
人件費	2,909,779	2,776,746
退職給付費用	106,708	76,238
地代家賃	1,141,866	1,104,080
その他	1,575,200	1,499,640
販売費及び一般管理費合計	5,733,555	5,456,706
営業利益	22,159	86,781
営業外収益		
受取利息	968	948
受取配当金	1,429	1,491
受取賃貸料	2,859	2,859
固定資産受贈益	379	8,298
店舗閉鎖損失引当金戻入額	5,472	—
その他	7,988	5,924
営業外収益合計	19,097	19,522
営業外費用		
支払利息	11,184	11,103
その他	5,782	2,264
営業外費用合計	16,967	13,367
経常利益	24,290	92,936
特別利益		
その他	503	748
特別利益合計	503	748
特別損失		
固定資産除却損	18,979	13,331
リニューアル諸費用	7,005	8,529
固定資産処分損	6,410	11,015
その他	1,400	4,602
特別損失合計	33,795	37,477
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,001	56,207
法人税、住民税及び事業税	29,396	34,641
法人税等調整額	△2,718	△424
法人税等合計	26,678	34,217
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,679	21,990
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,679	21,990

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,679	21,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,233	△8,486
その他の包括利益合計	△8,233	△8,486
四半期包括利益	△43,913	13,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,913	13,505

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,001	56,207
減価償却費	367,796	318,900
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,042
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,390	33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,688	7,646
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△151,605	—
受取利息及び受取配当金	△2,397	△2,439
受取賃貸料	△2,859	△2,859
支払利息	11,184	11,103
有形固定資産除却損	18,979	13,331
売上債権の増減額(△は増加)	3,251	24,946
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,024	△12,201
その他の流動資産の増減額(△は増加)	10,588	63,944
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,736	△49,844
未払消費税等の増減額(△は減少)	603	△15,831
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△51,462	△3,345
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	199,075	38,444
その他	2,609	△3,018
小計	358,128	449,060
利息及び配当金の受取額	2,378	2,461
賃貸料の受取額	2,859	2,859
利息の支払額	△11,136	△10,039
法人税等の支払額	△66,206	△58,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,024	386,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△128,899	△200,486
無形固定資産の取得による支出	—	△226
貸付金の回収による収入	—	215
長期前払費用の取得による支出	△8,357	△13,906
資産除去債務の履行による支出	△55,980	△5,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,236	△220,323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	81,000	△285,000
長期借入れによる収入	540,638	247,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△26,591
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△69,606	△53,202
自己株式の取得による支出	△22	△30,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	302,008	△198,761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	394,796	△32,979
現金及び現金同等物の期首残高	1,776,898	2,588,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,171,694	2,555,112

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は同種の外食産業及びその補完的事業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。